

龍宮



竜の宮媛
れが
か
み
ひ
か
な



成年
コミック

atelier maruwa presents

契あれば卯の葉葺ける浜屋にも
竜の宮媛かよひてしかなか



—南総里見八犬伝より—

竜宮

「まったくなんでこんな
マネージャーみないな仕事…
俺だって駆け出しとはいえ
プロデューサーなんだぞ…」

「いいい！
ちゃんと買った
ブランドのやつ
買ってくんよ！」

「叫びたいのは
私の方じゃ
ないのー！」

「買ってきたぞ伊織…
って…
わー！」

「おひはおえんへひは」

「Hハハハ！」

「ぶっぶっ…」



「あ……うらー！
あんたたち！
早く隠しなさい！」

「あずさお姉ちゃん！
ほらほら！兄ちゃん……♡
勃起してるよ！」

「……まあー！」

ホッ♡

アッ♡

アッ♡

「馬鹿！！
これはだな……！」

「あ……うらー！
ちよっ……亜美！」

アッ♡

「んっふっふっ♡
亜美たちの裸で興奮
しちゃってるっしょ♡」

「兄ちゃん大人の癖に
超戸惑っちゃって♡
かわいーかも♡」

「わっ…わっ!」
亜美ダメだって…!

「えい♡おちんちんさんは
全然そんな事…言っていないよ
めっちゃ喜んでるもん♡」

「プロデューサーさんの♡
こんなに熱くてカチカチなんて
あの…これで大丈夫ですか?」

「あずささん!
だ…ダメですよお!」

「あ♡あ♡きゃあん♡
プロデューサーさあん♡
射精って♡すごいんですね♡」

「わはあ♡すっごいピュピュ
してるよ♡あずさお姉ちゃん!
亜美のお口で気持ちよくなって
くれるって♡なんかうれしーかも♡」



「プロデューサーさん
その…私にも…」

「切ないの…埋めて
下さい♥ね?♥」

「あ♥はあ♥
プロデューサーさんの
来るんですね♥」



「兄ちゃん♥
亜美のまんまん♥
切なくなっちゃったよお♥」

「亜美に♥
おちんちんさん
ちよーだい♥」

「亜美! 亜美!」

「兄ちゃん♥」

「うぐっ…
あずささんの中
最高ですよ！
…い…イキますよ
あずささん！」

「は…はいん
いいんですよ
そのまま沢山
射精なさって
下さいね」

「あっ♡あっ♡
ふぁあん♡♡♡」

「兄ちゃあん♡
あずさ姉ちゃんばっか
ずるいよお♡
亜美にも♡亜美にも♡
いっぱい中出しピュッピュ
してくんなきゃだよ」

「中出し…癖になっても
知らないからな！」

「うん♡
亜美♡癖になっても
いいからあ♡だから…
あ♡あ♡きやはあん♡
にくちゃ…♡
しゅごいよお♡ピュッピュ
いっぱいだね」

「ハアハア…伊織……」

「なっ何よ！
早くしまいなさいよ
そんなの……」

「ちよつと…
何黙ってんの！」

「バツカじゃないの！
やだあ♥変態♥変態♥」

「まんまんもニプニプ
しちゃうぞ〜」

「はらー！
伊織のおっぱいも
ピンピンになっ
てるぞー！」

「あ♥こら♥
あんたこんな事
ん♥んちゅ♥ん♥」

「はあ♥はあ♥
ん♥くうん♥」

「!？」



「伊織！
伊織！伊織！」

「や♡こらあ♡
名前呼ぶだびに突くなんて
ずる…♡いんだから♡あ♡」

「はっ♡はっ♡」

「イクぞ！伊織！
中でいっぱいイクぞ！」

「あ♡はふあ♡あ
んふあん♡ん♡」

「これだめえ♡
ズンズン激しくするの♡
切ないから…ダメよお♡」

「伊織の奥…
俺のをチューチュー
してるぞ！」

「ん…♡
うるさい♡うるさい♡
いいからそのまま…
私のことギョって
しなさい♡」

「バカ♡」

「きゃああ！
ちよっと！」

「律子先輩

そんなとこに
隠れてたんですね！」

「きゃあ♥ちよっと
やめなさい♥
やあ♥脱がしちゃ...
ん♥あ♥」

「律子！律子！」

「こらあ♥
こんな無理やり
なんて♥ん♥」

「律子先輩を前にして
我慢する方が無理ですよ！」

「ど♥どんな理屈よ♥」

「きゃあ♥あ♥もう
先輩を♥呼び捨てに♥ん♥
してえ♥」

「あ♥あ♥あ♥
くうん♥ん♥
こらあ♥もう...
そんな深いの♥」

「ふああん♥」



「は…俺…暴走してた？」

「み…みんな？」

「プロデューサーさん
責任をとっていただき
ますからね♡ふふ♡」

「まったく…
これから私がピンバシ
鍛えなおしてあげなく
ちゃいけないわね♡」

「もっ♡精々こき使ってやるんだから
覚悟なさい！」

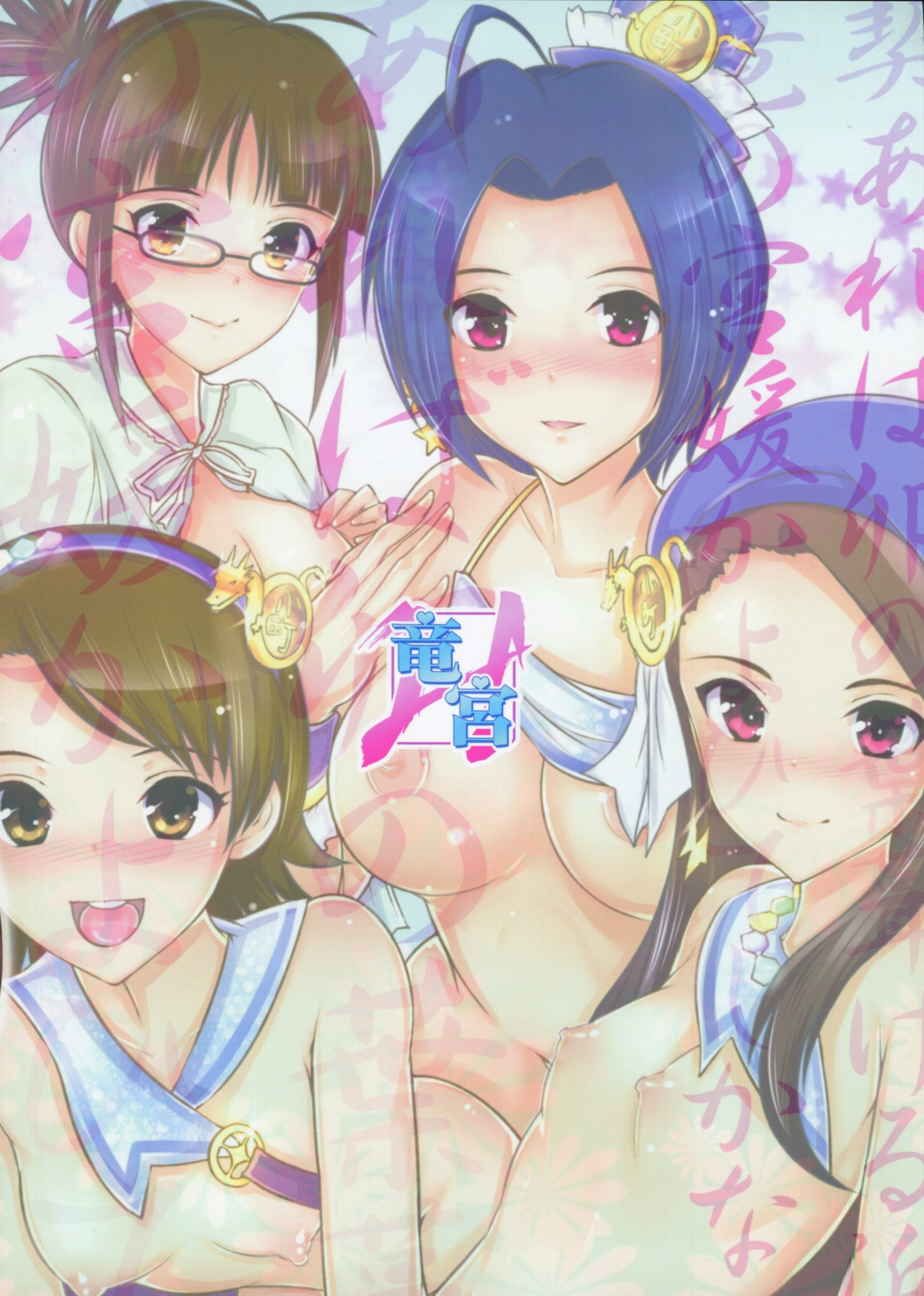
「ふん…変態♡」

「これから…ずっとな一緒に
兄ちゃん♡」

2010/12/31 コミックマーケット79
アトリエ丸和 <http://ugs4.blog111.fc2.com/>
丸和太郎

 **SUN GROUP**
<http://www.sungroup.co.jp/>

harem end



龍宮

舞
本
礼
女
愛
知
上
か
大
女